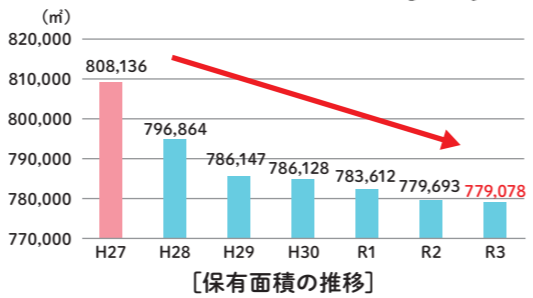
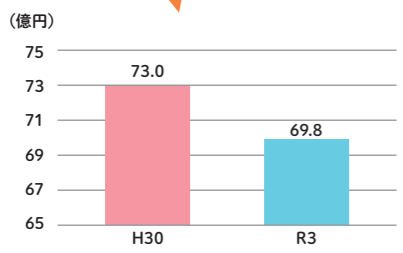


第1期実施計画の取組み効果と実績

佐世保市では、適正配置や長寿命化に向けた基本的なルールや進め方を定めた公共施設適正配置・保全基本計画に基づき、5年毎に個別施設の具体的な実施計画を定めています。その第1期（計画期間平成29年度～令和3年度）の取組み実績についてお知らせします。



総額 約3億2千万円削減
(H30年度比)



コミュニティセンター1施設の
建替え費用と同じくらい！



市役所本庁舎(26,468m²)
と同じくらいの面積を
削減できたのか！



29,058m²削減
削減目標15%（～R18年度）のうち、
3.6%削減（R3年度末時点）

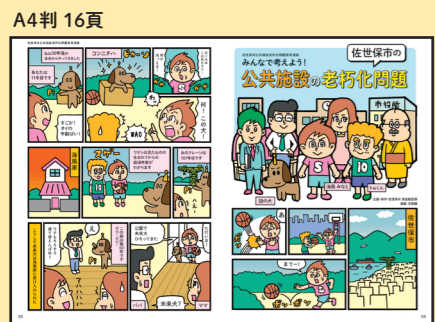
- 主な削減事例
- 吉井支所・コミュニティセンター **複合化** 3,775.81m² → 1,214.80m² **2,561.01m²削減**
 - 小佐々地区複合施設 **複合化** 6,000.89m² → 4,015.57m² **1,985.32m²削減**

知ってほしい！ 佐世保の公共施設老朽化問題について

YouTube動画で見る



公共施設の老朽化問題に関する動画を配信しています！
佐世保市の公共施設老朽化問題への取り組みについて動画で分かりやすく解説。視聴の上、コメントなどをお寄せください。



マンガで読む

漫画で読む、公共施設マネジメントほか、特集古賀選手インタビュー「スポーツと公共施設」や佐世保市の公共施設の老朽化問題の情報を掲載。



漫画で分かりやすく公共施設の老朽化問題を紹介
PDFでもご覧いただけます
「マンガで読む公共施設マネジメント」
左記のQRよりPDFでご覧いただけます

配布場所
佐世保市役所（本庁・支所）、
コミュニティセンター 他

問い合わせ先・発行元

佐世保市財務部 資産経営課
〒857-8585 長崎県佐世保市八幡町1番10号
電話：0956-24-1111(代表)
FAX：0956-25-9648

詳しい情報や最新情報はこちらから

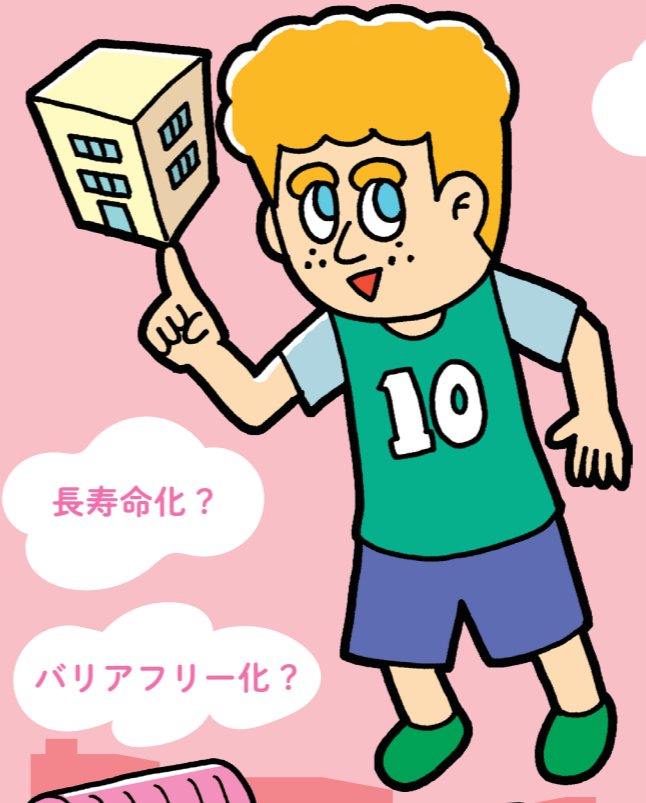
佐世保市施設再編保全関連ページ
各種方針や計画、今後の取り組み予定など公共施設の老朽化問題に関する情報を、佐世保市のホームページで公開しています。



佐世保市

公共施設の老朽化問題

2023

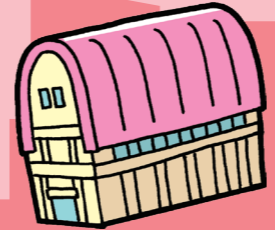
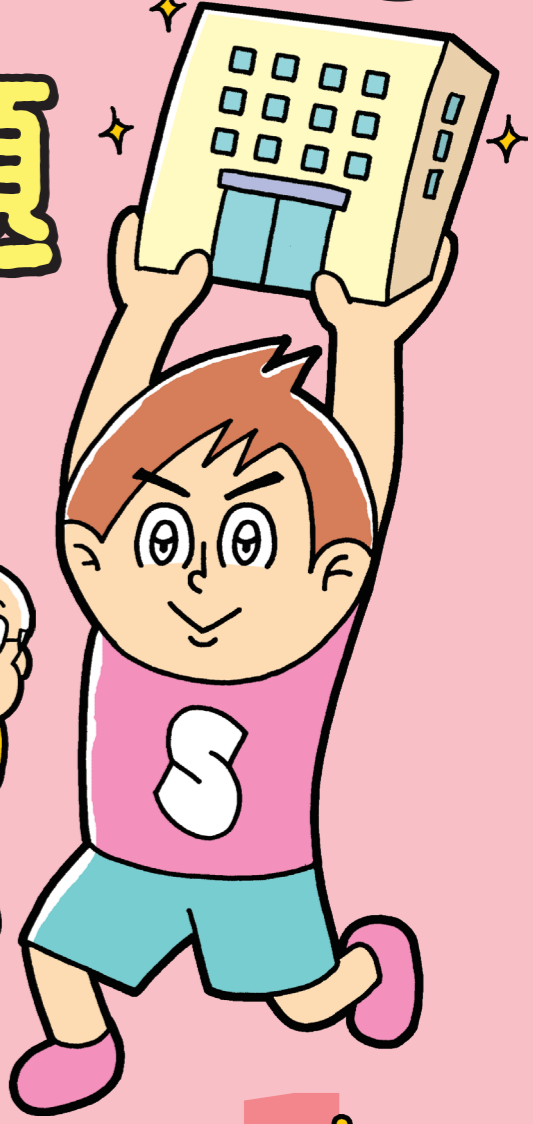
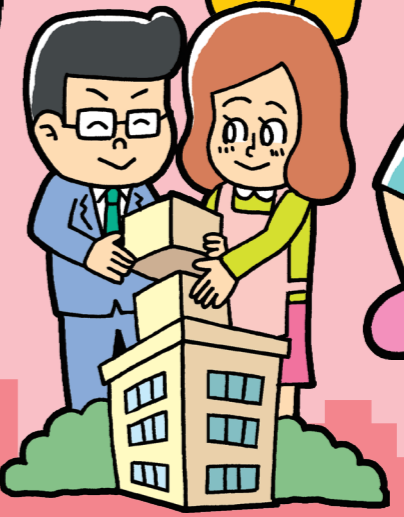


施設の再編計画？

複合化？

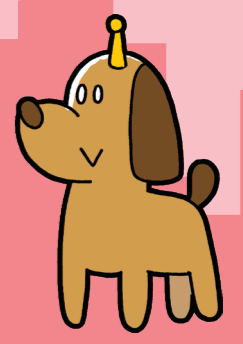
長寿命化？

バリアフリー化？



佐世保市の
公共施設の

未来を考えよう！



公共施設マネジメントレポート File

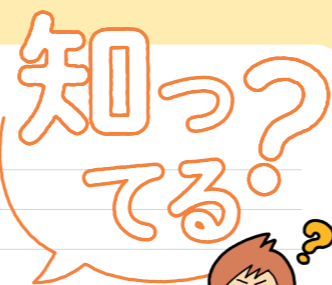
日野小学校 長寿命化改修・建替え

佐世保市内で初となる、学校施設の長寿命化改修工事を行っています。



完成予想図▶

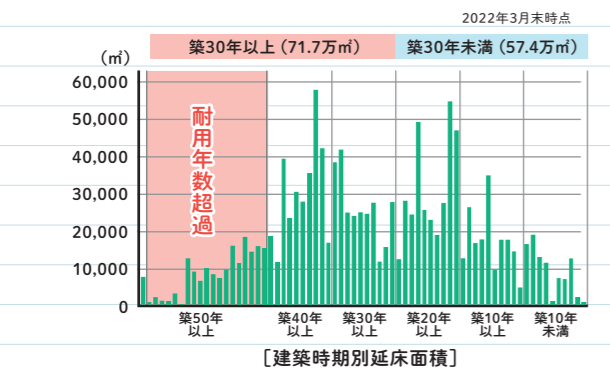
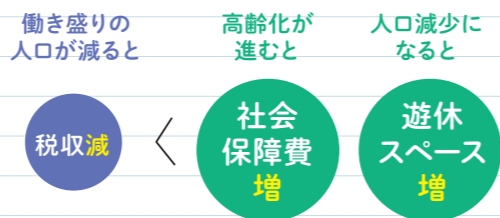
佐世保市が保有する公共施設の老朽化が進んでいます。



佐世保市は約3,000棟(約880施設)の公共施設を保有しています。
市民1人あたりの延床面積は5.5㎡で、全国平均の3.3㎡を大きく上回っています。

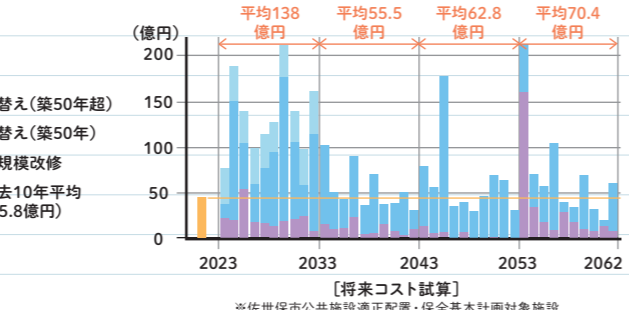
耐用年数を迎える施設が年々増えています！

公共施設の多くは1970年代頃の人口増加や高度成長にあわせて建築されたもので、佐世保市が保有する半数以上の施設が築30年を超えています。これらの施設が、今後一斉に建替えや大規模改修の時期を迎えることになります。



建替えや改修が追いつきません！

すべての施設を建替えるには、今後40年間にわたり年平均81.6億円が必要となります。そのうえ人口減少、少子高齢化、社会保障費の増加により現在よりも財政状況は厳しくなることが予想されます。



今後40年間の建替え・改修にかかる費用の総額
3,264億円

保有している施設を全て維持していくことはできません！

今後も安全に公共施設を利用するために「適切な管理、適切な施設選択」が必要です

公共施設の適正配置で延床面積を15%以上削減！

※15%=121,221㎡(適正配置対象施設ベース)

適正配置とは...? 佐世保市の身の丈にあった「施設の面積や機能」へ見直すことです。

- 機能の集約化・複合化**
支所 + コミュニティセンター = コミュニティセンター 支所
機能集約化・複合化のイメージ
- 規模縮小** 適正な面積に規模を縮小して建て替える
- 民営化** 施設機能を地元又は民間等へ譲渡する
- 廃止** 施設を廃止し処分(貸付・売却)または解体

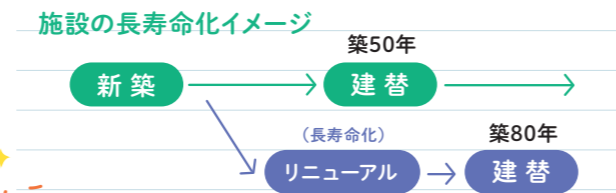
適正配置を行うと!?

- 維持管理費の削減
- ワンストップサービスの提供 など

長寿命化改修で耐用年数を80年以上に伸ばして、費用を削減！

施設の老朽化対策として、「長寿命化改修」の取り組みを進めています。

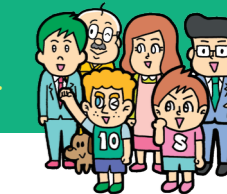
既存の建物躯体(基礎、壁、柱等)を引き続き利用しつつ、全面的に更新することで、これまで50年程度で建替えていた建物の目標耐用年数を80年以上とすることを目指しています。



- 建替えよりも
- 費用を3割程度削減することができる
- 工期の短縮、廃棄物が少ない など

公共施設 マネジメントレポート

事例で見る佐世保市の公共施設ビフォー・アフター



Report 日野小学校 長寿命化改修・建替え

日野小学校がリニューアルします！

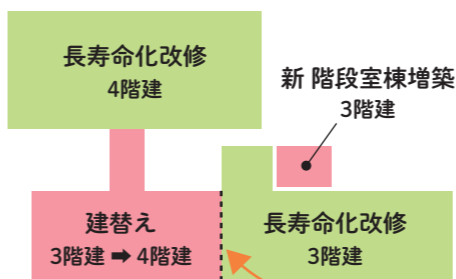
日野小学校では、市内の学校施設としては初となる長寿命化改修工事を行っています。

長寿命化改修では、既存の建物躯体(基礎・壁・柱等)をそのまま利用し、全面的に更新することで費用を抑えつつ、建替えと比較してもほとんど変わらない立派な建物に生まれ変わります。

また、別の棟では一部建替えも並行して行っており、同一学校内で実施することで建替えと長寿命化改修の比較がしやすく、長寿命化改修の推進のモデルケースとなることを目指しています。



校舎の配置図



長寿命化改修部と建替え部の切断面



壁の補修箇所印がつけられている

階段室棟増築の様子



エレベーター設置の様子

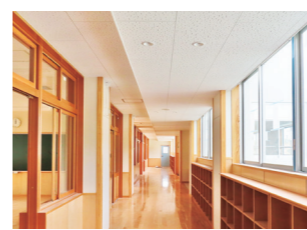


壁と柱を残している状態

After 完成予想図



令和5年度供用開始予定



廊下



教室